

北海道弟子屈高等学校

P T A 活動の紹介

第 48 回 強歩遠足

10月8日（日）秋晴れのもと、第48回北海道弟子屈高等学校強歩遠足が開催されました。前日の天候不順で1日順延し、当日も日付が変わる頃まで強い雨が降っていたものの、午前2時の夜間の部35kmの出発までには雨もあがり、昼間の部35km合わせて70kmが校長のピストルの合図のもとスタートしました。

今年度も夜間の部の強歩遠足はP T Aが、昼間の部は教職員が主体となって実施しました。昨年は摩周湖第3展望台から見える朝日や屈斜路湖に広がる雲海の景色など今まで歩いてきた疲れを忘れるかのような素晴らしい景色を見ることができたのですが、今年は、湖全体がガスに覆われ、残念ながら目に焼き付くような景色を見ることができませんでした。その代わりに、暖かい飲み物が参加者の疲れた心を癒やしてくれました。途中休憩しながらではありますが、何とかゴールの川湯温泉駅前に、途中でリタイヤする生徒もなく、全員到着することができました。

昼間の部の出発式は、夜間の部に参加した生徒の休憩時間の確保から予定より40分遅い9時から行われ、9時30分にスタートしました。秋空のもと、川湯温泉市街地を通り、屈斜路湖畔へそれぞれのペースで向かいました。川湯郵便局前では、恒例の硫黄山名物のゆで卵が提供され、美味しく頬張る生徒の姿が印象的でした。その後、普段こんなに歩いていないせいかわれが蓄積して、リタイヤする生徒も出ましたが、ゴールに向かって懸命に歩く姿勢はとても感動的でした。最後は、殿（しんがり）が午後5時に学校に到着し、怪我人を出すこともなく、無事に強歩遠足を終了することができました。

今年度もP T Aや保護者の方々、弟子屈町役場の方々、地域の方々のご協力があり実施することができましたが、生徒数の減少に伴い、保護者の方々からのご協力が難しくなっているのが現状です。今後も持続可能な行事にするため、各種方面からのご協力を得ながら継続していきたいと思っております。

